

調査審議事項について

1 大きな公共を担う活力ある地域社会づくりに向けて本市が取り組むべき方策

(1) 大きな公共を担う活力ある地域社会づくりに向けて本市が取り組むべき方策に関する提言の作成

- ・本市の施策（本市が今後行うべき施策の提案）
- ・市民活動団体にとって参考となる取組・事例等

(2) 調査審議の観点（ポイント）及び進め方

大きな公共を担う活力ある地域社会づくりに向け、次の(ア)、(イ)、(ウ)の観点を中心に、事例等から

- ・つながりが生まれた事例からの成功要因
- ・つながりが生まれない課題とその解決策

について調査・分析を行い、本市の施策等につながる内容の検討を行う

(ア) 当事者意識を持った市民（主体）の参加（機会の提供、内発的な動機付け、自発的な活動）

- ・参加のきっかけ（やりたいことなどに気づける機会の提供により、活動の意欲を高める）
参加のハードルを下げる
関心の薄い層への関わり方（働きかけ）
- ・内発的な動機付けが高まる条件を整備する（やる気を高めやすい配慮）
放っておけない【自負心の涵養・危機感の共有】
企画段階からの参加ができる（自分で選べる）【参加感の醸成・自律感の実感】
楽しい【熱中・没頭感の獲得】
できる（できた）【達成感・有能感の実感と共有】
周囲から認められている【有用感の実感と共有】

(イ) 多様な主体の参画（他主体との相互刺激、誘発的広がり）

- ・企業の更なる参画
企業の潜在力の棚卸し（財産や技術・ノウハウ）
企業にとっての効果（Win Winの関係）
- ・学校園、社会福祉施設等の多様な主体の参画
学校園、社会福祉施設等が市民活動に参画する動機
学校園、社会福祉施設等にとっての効果

(ウ) 連携協働が生まれるための仕掛け

- ・「オープンな（開かれた）場」のあり方
その場に行けば、地縁型市民活動団体、テーマ型市民活動団体、企業など市民活動に関わる様々な主体が情報などの地域資源を提供、収集、共有し合うなどできるようにするための仕掛け
拠点の魅力向上（場の力を醸成する（高める）ための仕掛け）
持続継続した運営のあり方
- ・市民活動の場の提供のあり方
- ・ICT（情報通信技術）の利活用
これまで市民活動への関わりが薄かった市民の参加